

# 病害虫発生予察情報予報第 5 号

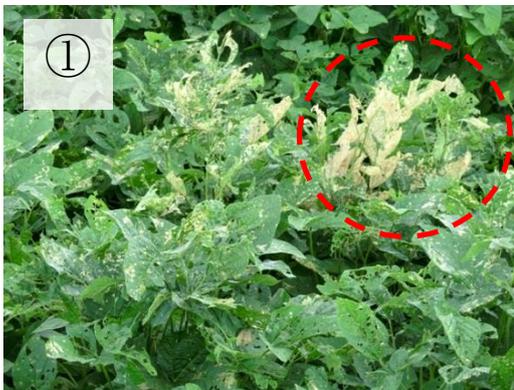
佐賀県農業技術防除センター

## I. 予報の概要

作物名	病害虫名	8月下旬の予想発生量 <sup>注1)</sup>		病害虫防除 のてびきの 記載頁 <sup>注2)</sup>	予報対象の病害虫 (抜粋)
		平年比	前年比		
大豆	ハスモンヨトウ	多	多	204~205 210~212	 ハスモンヨトウ
	カメムシ類	多	多	205~206 212~213	
	<b>1. ハスモンヨトウ</b> 各地域におけるフェロモントラップでの誘殺状況や農業技術防除センターの誘殺情報（ホームページ）を参考に、圃場を見回り、大豆での白変葉の発生状況を確認し、適期防除を行う。 防除に当たっては、薬剤が茎葉にまんべんなく付着するよう規定の範囲で十分量を散布する。				

注1) 予想発生量については、平年及び前年との比較により記載しているため、実際の発生量とは相違を生じる場合があります。

注2) 防除対策については、「佐賀県病害虫防除のてびき」も参照してください。



① ハスモンヨトウによる白変葉(図中赤丸)  
 〈若齢幼虫の集団による食害〉 (平成28年撮影)  
白変葉の発生を認めたら防除適期



② 吸実性カメムシ類  
 (写真は、イチモンジカメムシ)

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部  
 〒840 - 2205 佐賀市川副町南里1088  
 TEL (0952) 45 - 8153 FAX (0952) 45 - 5085

## Ⅱ. 予報の内容・根拠等について

### 予報内容（来月の予想発生量）

- 平年（過去10年間）及び前年と比較し「少、やや少、並、やや多、多」の5段階で示しています。  
なお、少発生が予想される病害虫等については、予報の概要のみの記載となる場合があります。

### 予報内容の根拠

- 農業技術防除センターが実施する県内各地での調査、防除員の調査、予察灯・トラップでの誘殺状況調査等に基づく発生現況、気象予報からみた病害虫の発生条件等を基に、関係者による発生予察会議で決定します。
- 発生現況および気象条件が来月の病害虫の発生に及ぼす影響については、(－)：少発生、(－～±)：やや少発生、(±)：並発生、(±～＋)：やや多発生、(＋)：多発生として示しています。

### 防除上注意すべき事

- 各病害虫を防除する上で特に注意すべき事項等を記載しています。なお、全般的な防除対策については「県防除のてびき」をご参照ください（1ページの予報の概要にリンク有り）。

### 写真

- 1ページ目：予報で対象とした病害虫を抜粋して掲載しています。  
3ページ目以降：巡回調査時の各作物の生育状況を掲載しています。

### 気象条件

- 病害虫の発生に関与する気象条件については、福岡管区気象台発表の1ヶ月予報（平成29年8月3日）を基に、「気温：平年より高い」、「降水量：平年より多い」と判断しています。

気象予報による要素別確率(%)及び病害虫の発生に関与する気象条件

要素	1ヶ月予報における気象予報（確率予報%）			病害虫の発生に関与する気象条件（平年比）
	低い(少ない)	平年並 (佐賀市の平年値)	高い(多い)	
気温	10	10	80	高い
降水量	20	30	50	多い

### Ⅲ. 8月下旬の大豆の予報

## 大豆

巡回調査 8月2~4日



巡回調査圃場の様子

### 1. ハスモンヨトウ

#### 1) 予報の内容

発生量：平年より多い（前年より多い）

#### 2) 予報の根拠

##### (1) 発生の現況

###### ①巡回調査（図1参照）

発生株率0%（平年0.3%、前年0.3%）

平年比：並（±） 前年比：並（±）

###### ②トラップ調査（図2参照）

8月1半旬の誘殺数は平年並（±）

###### ③今後の気象予報

福岡管区气象台が8月3日に発表した九州北部地方の1ヶ月予報では、気温が高く、多発生の条件（+）

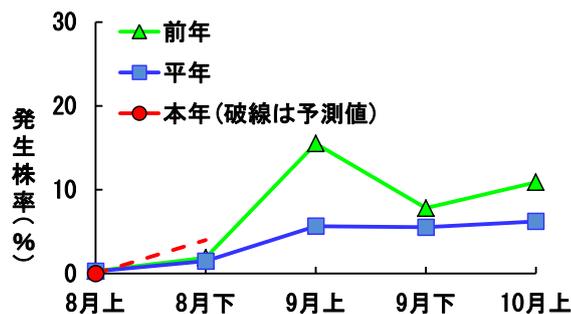


図1 大豆でのハスモンヨトウの発生推移

#### 3) 防除上注意すべき事項

特記事項を参照する。

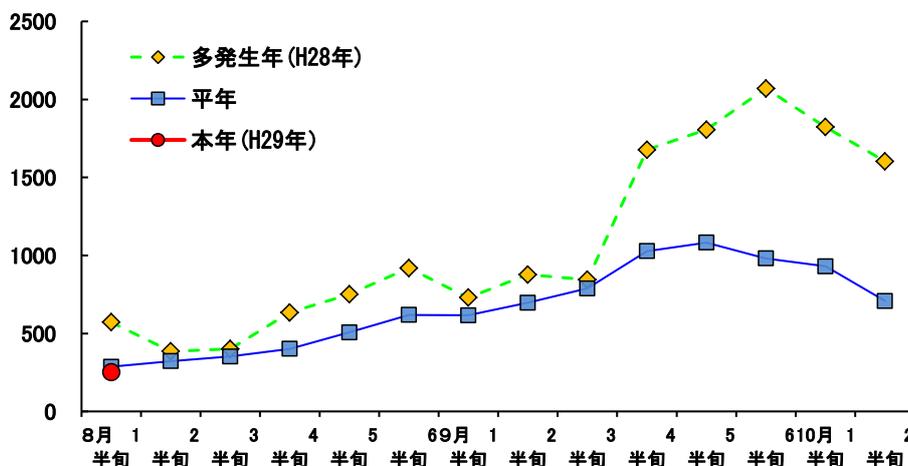


図2 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の半旬別誘殺数（10月2半旬まで）  
（農業共済組合、農業試験研究センター、農業技術防除センターによる県内9地点の平均誘殺数。）

### 2. カメムシ類（アオクサカメムシ、イモシジカメムシ、ホリハリカ

メムシ、ミナミアカメムシ等）

#### 1) 予報の内容

発生量：平年より多い（前年より多い）

#### 2) 予報の根拠

##### (1) 発生の現況

###### ①巡回調査（図1参照）

発生株率0%（平年0.04%、前年0.0%）

平年比：並（±） 前年比：並（±）

###### ②今後の気象予報

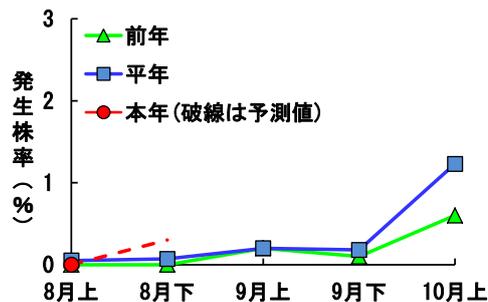


図1 大豆でのカメムシ類の発生推移

福岡管区気象台が8月3日に発表した九州北部地方の1ヶ月予報では、気温が高く、多発生の条件〈+〉

3) 防除上注意すべき事項

各圃場でカメムシ類の発生状況を確認し、莢の伸長初期から子実肥大中期に防除を行う。